



2026年2月13日

各位

会社名 日華化学株式会社
代表者名 代表取締役社長 江守 康昌
(コード番号 4463 東証スタンダード・名証プレミア)
問合せ先 取締役執行役員 管理部門長
澤崎 祥也
(TEL 0776-24-0213)

中期経営計画「INNOVATION30」策定に関するお知らせ

この度、日華化学グループは2030年度を最終年度とする中期経営計画「INNOVATION30」（2026～2030年）を策定いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 背景

当社グループは2025年度を最終年度とする中期経営計画「INNOVATION25」の終了に伴い、新たな中期経営計画「INNOVATION30」を策定いたしました。なお、本計画は2024年7月に公表いたしました「中期グループ成長シナリオ」の前半フェーズと位置付けております。

2. 中期経営計画「INNOVATION30」

基本戦略

- ① 事業拡大と成長投資：化粧品事業の拡大、化学品事業 EHD*1 領域への傾注
- ② 財務・資本戦略の強化：バランスのよいキャッシュフローアロケーションの実行
- ③ サステナビリティ経営：経営基盤の強化、エンゲージメント向上、CO2削減

*1 環境：Environment、健康・衛生：Health、先端材料：Digital の頭文字を取ったもの

3. 目標数値（2030年度）

売上高：700億円、EBITDA：90億円、ROS：8%、ROIC：6%、ROE：8%、DOE：3%以上

4. 株主還元方針

当社は、株主の皆様に対し安定的な配当を継続して実施するとともに、業績と将来の成長のために必要な投資や今後の事業展開等を総合的に勘案し、以下の方針にて剰余金の配当を決定しております。

- ① 年間配当において、DOE（自己資本配当率）3.0%を目安として拡充し、その後もDOE向上を継続して検討してまいります。
- ② 年間配当において、利益成長を通じたより安定的な配当（維持・増配）である累進配当といたします。

同内容につきましては、本日公表いたしました「2025年12月期 通期決算補足説明資料」にも掲載しておりますので、併せてご参照下さい。なお、本中期経営計画「INNOVATION30」の全体補足説明資料は2月19日に公表予定です。

以上

(注) 当資料に記載されている計画及び目標等の将来に関する記述は、すべて発表日時点において当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、実際の業績等は、経済情勢の変動等様々な不確定要因により、将来に関する記述とは異なる可能性があります。